



1. マーケット・レート

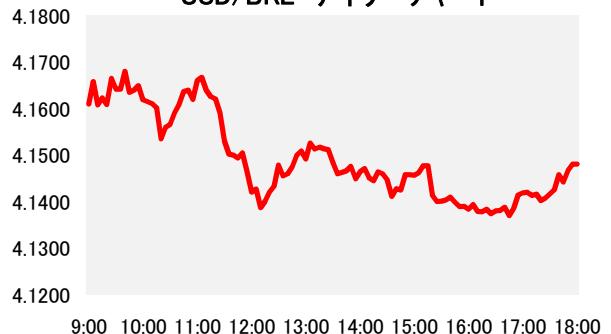
			11月5日	11月6日	11月7日	11月8日	11月11日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.9930	4.0750	4.1010	4.1680	4.1480	-0.0200
	BRL/JPY	Spot	27.340	26.730	26.64	26.21	26.28	+0.07
	EUR/USD	Spot	1.1072	1.1068	1.1048	1.1022	1.1033	+0.0011
	USD/JPY	Spot	109.17	108.96	109.26	109.21	109.05	-0.16
金利	Brazil DI Future	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	4.448 4.452	4.443 4.464	4.466 4.495	4.460 4.516	4.447 4.486	-0.013 -0.030
	On-shore USD	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	2.415 2.397	2.516 2.540	2.582 2.633	2.654 2.717	2.636 2.696	-0.019 -0.020
株式	Bovespa指数	108,719.00	108,360.20	109,580.60	107,629.00	108,367.40	+738.40	
CDS	CDS Brazil 5y	115.86	118.80	116.31	116.11	117.70	+1.60	
商品	CRB指数	182.090	180.513	180.981	181.275	179.413	-1.86	

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FIPE CPI-週次	0.18%	0.27%	0.15%
IGP-Mインフレ第1回プレビュー	0.44%	0.08%	0.68%
貿易収支(週次)	--	-\$232m	\$246m

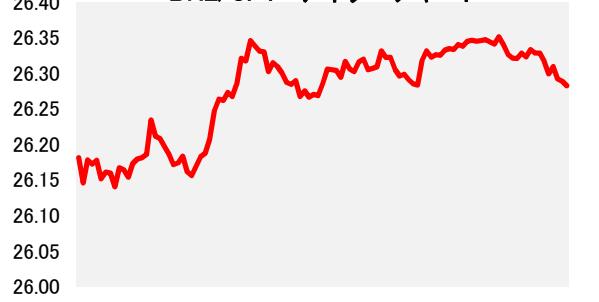
USD/BRL デイリーチャート



3. 要人コメント

米トランプ大統領 (9日の発言)	中国との通商協議について「うまく進んでいる」としつつ、「米国にとって適切な内容でしか合意を受け付けない」と発言
---------------------	---

BRL/JPY デイリーチャート



4. トピックス

- 本日のレアルは前週末比上昇。前週末にルラ元大統領釈放を受けて急落したレアルに対する反発買いがやや優勢だった。レアルは4.1610で寄り付いた後、日中安値4.1690まで下落したが、その後日中高値4.1360まで反発。結局4.1480でクローズした。
- レアル相場は国外のリスクオンと国内の不透明感の相克といった様相を呈しており、当面は国内要因優勢の相場が続くものとみられる。他方、国外リスクオンの主因たる米中通商協議進展に対する期待感についても、週末の米トランプ大統領発言や、香港情勢緊迫化を受けた中国政府による介入の可能性とそれによる米中合意の棚上げリスクが指摘されるなど予断を許さない。本日はレアル売り圧力がやや和らいだが、国外がリスクオフに転じれば急速にレアル売りが進む可能性もあるため警戒を続けたい。
- 11日(月)発表のブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想について2019年は0.92%で据え置かれた一方、2020年は2.00%から2.08%に上方修正された。インフレ率予想は2019年が3.29%から3.31%に上方修正された一方、2020年は3.60%で据え置かれた。年末の為替レートについては2019年、2020年ともに4.00で据え置かれた。